

広野町国際フォーラム「被災地・広野町から考える」
～“幸せな帰町・復興”に向けて～

ワークショップ・セッション No.16

参加費無料

事前申込不要

町民と大学生で ふたばの未来を考えよう！

9月14～20日に広野町で開催される「広野町国際フォーラム」。海外研究者を交えて広野町民の本当の「幸せの帰町・復興」について探ります。広野町のみならず、福島の被災地全体の復興に向けて考える交流の場において、福島大学生がおこなうセッションにぜひご参加ください！

学生の実践報告

南相馬・川内村・広野町に滞在した
大学生から見た「まちの魅力と課題」
の発表

ワークショップ

町民と大学生で考える
「復興にむけて町民と大学生で一緒
に取り組んでみたいことは？」

日程

9月19日（土）

時間

10:00～12:00（開場：9:50）

場所

広野町中央体育館 アリーナ（双葉郡広野町中央台1丁目）

対象

- ・ 広野町、双葉郡地域にお住まいの方
- ・ 双葉郡地域の復興に興味関心がある方
- ・ 被災地の復興に向けて若者と何か一緒に取り組んでみたい方

お問い合わせ

広野町国際フォーラム主催：
国際フォーラム企画・運営会議（事務局：広野町役場 復興企画課）
No.16 ワークショップ企画： 福島大学 ふくしま未来学推進室

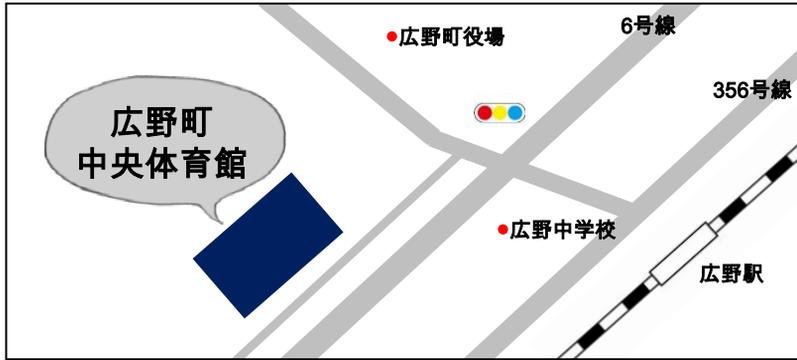
TEL

024-504-2850

Mail

miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

会場アクセス



●駐車場は、広野町役場と広野町中央体育館にございますが、駐車場が混み合うことが予想されますので、**できる限り公共交通機関をご利用**いただきますようお願いとご協力をお願いいたします。

●広野駅から広野町役場にむけた6号線の十字路は交差点がございません。広野駅から徒歩でお越しの方は、歩行者専用の地下道をご利用ください。

ワークショップの内容

ふくしま未来学では、地域に滞在をしながら住民との交流を通して、地域の現状や課題を学ぶ実践学習に力を入れています。その中のひとつの授業である「むらの大学」では、南相馬市や川内村に滞在し、また、広野町へも訪問しました。セッションNo.16では、そこから学生たちが気づいたことや学んだことを報告し、参加者のみなさまと、「町民と大学生で一緒に取り組みたいことやできること」を考えていきます。

●実践学習の様子(一部)



南相馬の復興に向けて自分たちは何ができるかを考えました



南相馬小高の卓球クラブの皆様とスポーツを通して交流しました



川内村の教育長から村の教育の現状と取り組みについて伺いました



広野町レストランアルパインローズ西シェフからお話を伺いました



広野町でアヒル農法によりお米を育てる新妻さんからお話を伺いました



行政・企業・住民で協議して計画された広野防災緑地を見学しました

●広野町国際フォーラム「被災地・広野町から考える」

詳細はこちら：<http://www.town.hirono.fukushima.jp/kikaku/kokusaiforam.html>



●セッションNo.16担当：「ふくしま未来学推進室」とは

原子力災害の経験をふまえ、地域課題を実践的に学び、未来を創造できる人材の輩出をめざす特集プログラムを企画・運営する機関です。

